

「令和4年度熊本大学障がい学生支援室FD・SD講演会」アンケート集計結果（当日分）
アンケート回答者名 22名

1. 所属について、当てはまるものをお選びください。

| | | | |
|---------|---|----------|---|
| ①本学教員 | 7 | ④他大学教員 | 3 |
| ②本学事務職員 | 7 | ⑤他大学事務職員 | 1 |
| ③本学専門職 | 3 | ⑥他大学専門職 | 0 |
| | | ⑦その他 | 2 |

2. 今回の講演会の内容について、当てはまるものをお選びください。

| | | | |
|--------|----|------------|---|
| ①大変有意義 | 17 | ③普通 | 0 |
| ②有意義 | 5 | ④あまり有意義でない | 0 |
| | | ⑤有意義でない | 0 |

3. 今回の講演会の内容について、ご感想やご意見をご自由にご記入ください。

- ・とても貴重
- ・トラブルにも関わらず詳しくお話しいただいたと思います。
- ・合理的配慮の内容の検討には、授業担当者との対話が重要であることが良く分かった。ただ、すべての授業担当者が合理的配慮を十分に理解していないことが問題になるのではないかと思います。
- ・具体例を挙げての解説が非常にためになった。
- ・テクニカルスタンダードのお話は大変有益でした。
- ・「テクニカルスタンダード」という言葉が気になっていました。よく理解できました。ありがとうございました。
- ・障害学生支援のポイント（判断する枠組み・どこのポイントを逃してはいけないか）を整理することができました。さらに、各自のなすべき事と連携すべき事を再確認して参ります。
- ・とても参考になりました。まだまだ勉強ですが、今から体制構築に向けて頑張りたいと思います。
- ・大変参考になりました。
- ・“教務規定も変更・調整する”という当たり前を変えていくという視点にはとても考えさせられました。
- ・大学の教員が非常に参考となるテーマだったと思います。ありがとうございました。
- ・まず、井上先生から説明のあった本学における障がい学生支援室への相談及び合理的配慮の具体例について、現在の業務内容にも密接に関わってくる内容のため、事例を交えての説明は非常に参考になりました。次に、船越先生の大学等の高等教育機関に求められる合理的配慮についての説明では、学生が大学入学前までに受けていた特別支援教育における配慮と、入試時以降受けることになる合理的配慮の異なる点について私自身恥ずかしながら知らなかったため、非常に興味深く話を聴くこととなりました。私自身は、合理的

配慮に係る学生支援業務に積極的に関わったことはまだありませんが、そのようなことに対応する際に、学生や教職員双方にとってより良い方法を考えて、対応していきたいと思いました。

- ・ 毎年、非常に有意義なお話を聞けて、大変参考になります。
- ・ 熊本大学で実際行われている支援を知ることができ、大変勉強になりました。また、必要な合理的配慮を行うには、資金面や人的確保が早急に必要だと感じました。その中で、今できることとして、入学時ガイダンスで障害者学生支援や合理的配慮について学生に伝えることは非常に有効だと感じました。貴重なご講演、ありがとうございました。
- ・ 音声途切れた後、Zoomの自動翻訳機能を使いお話を追ったのですが、ご講演でのお話にあったとおり、自分に聴覚障害があるとしたらどのような世界になるのかの一端だけでも経験できたという意味においても、有意義でした。ありがとうございました。
- ・ 合理的配慮について、深く学びました。資格取得に関するクリニカルスタンダードの考え方は、興味深かったです。
- ・ 以前から知りたいと思っていたことが、根拠を含めてわかりましたので、大変有意義でした。有り難うございました。
- ・ これまでは、担当する授業の受講者に合理的支援が必要な学生が居る場合に、求められている支援を行うだけであったが、その背景や考え方の具体的な理由が分かりました。
- ・ 合理的配慮の根幹となる考え方等を丁寧に教えていただき、理解が深まったと感じられます。

4. 今回の講演会の開催方法（対面とオンラインのハイブリット開催）について、ご感想やご意見をご自由にご記入ください。

- ・ 良好
- ・ ハイブリット開催における技術的な問題
- ・ 多くの方の参加が望めて良かった。開催側は準備が大変だったと思います。
- ・ 他大学の者としてハイブリット開催にして頂くことで専門性を増すことができ、とても有難く存じます。
- ・ ありがたかった。
- ・ 久しぶりの対面での開催、うれしかったです。
- ・ 併用のままで実施をお願いします。
- ・ 学生対応等がある部署のため、長時間事務室を離れることが難しく、オンラインでも参加できるのはありがたいです。途中オンライン側の音声途切れる事がありましたが、船越先生からも説明があったように、聴覚の障害を持つ学生にとってはこの不便さが授業やそれ以外でも日常的に生じているということがわかり、また図らずも同時字幕が準備されている便利さを実感することができました。
- ・ 前後に他の予定があると、ハイブリット開催は助かるのですが、接続の問題で時間がずれると最後まで聞けなくて残念でした。
- ・ 部署を離れられない環境のため、オンラインでの視聴可能なことは非常にありがたかったです。今後もハイブリット開催していただければと思います。

- ・準備が大変かと存じますが、時間と場所の制約を可能な限り少なくできる方策を考えれば、ハイブリッド形式に意義があると感じず。
- ・対面では出席ができないので、オンラインで開催して頂いて助かりました。
- ・聴講者の都合に合わせて方式を選択できるため、有り難く思いました。

5. **今後、希望するテーマ等がありましたらご記入ください。**

- ・発達障がい学生の支援について
- ・引き続き熊本大学の合理的配慮の現状を知る機会があればと思います。そして、何度でも合理的配慮のポイントを再点検できる機会があればと思います。
- ・現時点ではテーマに相当するものが思いつきません。すみません。
- ・学生支援のケーススタディ、出来るだけ多くの事例（様々な状況に対する）を知りたいです。

6. **その他、ご意見ご感想がありましたらご記入ください。**

- ・船越先生のご説明の中で入学生全員にガイダンスで合理的配慮の説明をすることが重要ということに同意。また教員の意識改革も必要だと思う。
- ・もっと実例を基にした具体的な対応事例の話を聞きたいです。
- ・ご準備ならびに運営をご担当されました皆様、大変お疲れ様です。多くの情報を得ることができましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ・おつかれさまでした。ありがとうございました。
- ・障がいのある学生の修学支援についても、日々状況が変化していくものであるため、今回のような講演会には定期的に参加していきたいと思います。最後になりますが、この度はこのような機会を設けていただき、御礼申し上げます。
- ・今後も是非続けて下さい。今回の分の動画のオンデマンド配信も可能でしたらお願いします。再度、視聴したいと思います。
- ・学生支援室の皆さま、大変お疲れ様でした。
- ・ご講演の中で、成績評価に関連して、例えば、本学で「基準」として定めている授業への2/3以上の出席を必ずしも絶対的要件としない対応があり得るといった考え方をご提示いただいたと（勝手に）理解しておりますが、とすれば、合理的配慮対象の学生への柔軟な対応を可能にするような「規則」改正が必要になるのか...という点が気になりました。チャットで質問するタイミングを逸してしまい、このアンケートの場をお借りして質問させていただきます。参考となる先行事例、あるいは、他大学の事例などをご教示いただければ幸甚に存じます。
- ・大変有意義な講演会でした。有難うございました。